

クウェート科学技術研究所(KISR)と 財団法人国際石油交流センター(JCCP)が、 共同研究事業に調印

2010年11月1日・クウェート

永島 英夫 Hideo Nagashima

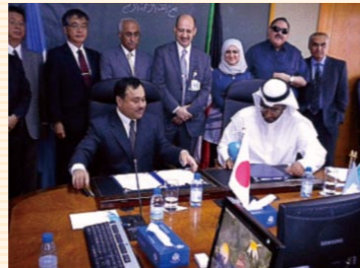
九州大学グローバルCOEプログラム拠点「新炭素資源学」
拠点リーダー

クウェート科学技術研究所(KISR)は、財団法人国際石油交流センター(JCCP)との重質原油の改質技術共同研究事業(事業名:Research on Upgrading Technology of Kuwait Heavy Crudes)に係る調印式をおこないました。九州大学から、永島副学長(本COEリーダー)と持田特任教授(炭素資源国際教育センター)が参加しました。KISRとJCCPの共同事業は1993年に始まり、これまでに21件以上の研究事業と11回以上のシンポジウムが行われ、成功をおさめています。この共同事業では、九州大学とJX日鉱日石リサーチ(株)が技術支援を行います。これまでの特徴として、KISRとJCCP間の技術協力を日本の石油精製会社が参加するだけでなく、基礎研究を担う大学(国立大学法人九州大学)が参画します。

本事業の目的は、これからのクウェートの石油精製産業にとって重要な

るであろうクウェートの典型的な重質原油、すなわちラタウィ・ブルガン、イオシン、そしてローファースから採掘される原油から得られる軽油(GO)や常圧残油(AR)の性状・反応特性を研究することにあります。研究知見に基づいた国際規格に従って高品質の石油製品を製造するための、上記原油のプロセス可能性が探究されます。

クウェートの原料油に特有のデータは非常に少ないか、または入手困難です。この共同事業によって、上記原油に関する科学的・技術的データの構築と、過去数十年間にわたってクウェートの製油所で用いられてきたKuwait Export Crude (KEC) との比較が可能になります。得られた情報は、将来的にクウェート国立石油会社(KNPC)での石油精製事業にとって有益なものとなると期待されます。



調印式の様子



スピーチを行う永島英夫拠点リーダー



調印式の様子は地元のメディアでも報道されました

日本側

1. 小溝 泰義 駐クウェート日本国大使
2. 山下 宜範 在クウェート日本国大使館 一等書記官
3. 吉田 盛厚 財団法人 国際石油交流センター 常務理事
4. 仁田 健次 財団法人 国際石油交流センター リヤド事務所所長
5. 巢山 信之 財団法人 国際石油交流センター マネージャー
6. 永島 英夫 国立大学法人九州大学 副学長
7. 持田 勲 国立大学法人九州大学 特任教授(名誉教授)
8. 高野 正充 JX日鉱日石リサーチ(株) マネージャー
9. 東 英博 財団法人 国際石油交流センター/クウェート科学技術研究所

クウェート側

10. Dr. Naji M. Al-Mutairi, Director General
11. Dr. Mohammed Salman, DDG/Research
12. Dr. Nader Al-Awadhi, DDG/Information
13. Ms. Sahera Al-Dousari, DDG/A&F
14. Dr. Abdulhameed Al-Hashem, Director/PRSC
15. Dr. Meena Marafi, DM/PRD
16. Dr. Mohammed Al-Ramadhan, KPC
17. Mr. Ahmad Al-Jimaz, DMD/Shuaiba Refinery
18. Mr. Mohammad Ghazi Al-Mutairi, DMD/MAB Refinery
19. Ms. Badriya Farhad, KOC
20. Mr. Khalid Al-Mushaileh, KNPC
21. Dr. Suad Al-Radwan, MAA, KNPC
22. Dr. Adel Al-Abbasi, KOC
23. Mr. M. Al-Homoud, OMPM/KISR

SYMPOSIUM & WORKSHOP

SYMPOSIUM シンポジウム

The 5th International Symposium on Novel Carbon Resource Sciences **主催**

日時: 2010年4月21~23日
場所: オーストラリア・カーティン工科大学

第20回万有福岡シンポジウム —最新の有機化学が発信する新しい「もの創り」のパラダイム— **共催**

日時: 2010年5月22日
場所: 九州大学医学部百年記念講堂

The 6th International Symposium on Novel Carbon Resource Sciences **主催**

— Aiming toward Low-Carbon Society —

日時: 2010年11月12~13日
場所: 九州大学筑紫キャンパス

Cross Straits Symposium on Materials, Energy and Environmental Sciences 12 **共催**

日時: 2010年11月17~18日
場所: 韓国・POSTEC

九州大学グローバル COE「新炭素資源学」公開講座 ~温室効果ガス CO₂ 削減について考えよう~ **共催**

日時: 2010年11月27日
場所: 福岡女子大学 大会館

第三回 生活環境系シンポジウム ~住まいと地域環境から考える健康~ **共催**

日時: 2010年12月3日
場所: 北九州学術研究都市 学術情報センター

第23回化学工学に関する国際シンポジウム **共催**

日時: 2010年12月4日
場所: 九州産業大学 1号館

第二回ガス化とその応用に関する国際シンポジウム(iSGA 2010) **共催**

日時: 2010年12月5~8日
場所: THE LUIGANS

地球科学技術に関する国際シンポジウム2010 **共催**

日時: 2010年12月7~8日
場所: 九州大学伊都キャンパス 稲盛国際ホール